

第 12 回 地域肝炎治療コーディネーター教育セミナー 議事録

日時：平成 28 年 9 月 8 日（木）18：30～20：00

場所：ホルトホール大分 3 階 『大会議室』

テーマ：「進歩を遂げた肝炎治療を届けるために」

総合司会：大分大学医学部附属病院 消化器内科 本田浩一 先生

講演 1（30 分） 座長：新別府病院 肝臓内科 香川浩一 先生

「C 型肝炎治療におけるフォローアップの向上を目指して」

演者：琉球大学医学部附属病院 第一内科 前城達次 先生

沖縄県 肝炎治療コーディネーター数推移

- ・ 25 年 26 名、26 年 33 名、27 年 40 名 合計 99 名在籍
- ・ 内訳：保健師 58 名、看護師 33 名、医師 4 名、その他 4 名

肝炎 Co の活動内容

- ・ 断酒会の紹介、HCV 治療後のサポート、助成の説明など

C 型肝炎患者のフォローアップサポート

- ① 治療の動機付け
- ② 治療の方法を知る：服薬状況の把握 医師→看護師→薬剤師
- ③ 治療後の受診の必要性を伝える（SVR 後の発癌リスクなど）
- ④ スタッフも巻き込んで（公費担当者、薬剤師、看護師との連携）
→医療費助成の説明やアドヒアランスについて説明

まとめ

肝炎 Co を中心に患者様に即した指導やサポートの介入により、アドヒアランスの向上やフォローアップ率の向上に繋がる。

治療前に DAAs の情報提供を行う事で、患者さんの治療意識を高める事が出来る。

香川先生：沖縄県の肝炎 Co は毎年養成しているが今後も要請していくのか。

前城先生：沖縄県としては肝炎 Co 数が 100 名に近づいているので、これまでに養成した方々に今後どのように活動して頂くかを検討している。

「沖縄県の肝疾患の疫学的特徴」

演者：琉球大学医学部附属病院 第一内科 前城達次 先生

肝硬変の成因

- ・ 沖縄では nonB,C (アルコール性) の方が半数以上を占めている。
- ・ アルコール性肝炎、脂肪肝が多いので生活習慣の改善などを指導。
- ・ 全国と比べて HCV 抗体陽性率は低い、HBs 抗原陽性率が高い。

B 型肝炎

- ・ 沖縄県における HBV 持続感染者の多くが無症候性。
- ・ ジェノタイプ A の遺伝子型の HBV が増加している。
→ジェノタイプ A は感染後 10%程度の症例で、持続陽性となる。
- ・ 琉球大での HBV ジェノ A 患者割合 1989-2005 1.5%、2006-2011 8.4%。
- ・ HIV 感染者に HBs 抗原陽性者が 12%程いる。

C 型肝炎

- ・ ダクラタスビル+アスナプレビル療法 70 例治療 SVR12 86% non-SVR 8 例。
シメプレビル failure、1a 型の方でブレイクスルー。
- ・ 琉大の HCV 症例では、1 型 79.4% (1a 型 16%、1b 型 56.3%、1a/1b 型 1.7%)。
- ・ 60-70 代の女性に 1a 患者が多い。
- ・ 感染拡大の時期は、ベトナム帰りの米兵と覚せい剤が蔓延した時期と推定。

Q&A

本田先生：大分ではタトゥーの方に 2 型が多いが、沖縄ではどうでしょうか。

前城先生：沖縄でも同様です。

全員参加のディスカッション (60 分)

司会：清家正隆 先生

コメンテーター：前城達次、大河原均、荒川光江、所征範、織部淳哉、遠藤美月 各先生

肝炎シール普及

① 別府厚生連健診センターの方

- ・ 1 度受診者の方から肝炎シールの持ち込みがあった。かかりつけ医の先生から紹介されたとの事。健診センターでは、検査結果を記載してお渡し出来ていないのが現状。お薬手帳を持たれていない方もいる。

清家先生：健診に来られた方に、検査した事を認知して頂く為にも活用して頂きたい。

② 日田のクリニックの看護師さん

- ・ 検診や受診の際に、胃・大腸カメラやケモの時などにお薬手帳に貼っている。
- ・ 事務とも連携している。
- ・ 問題点は、患者さんの肝炎検査への認識が低い。CMなどで徐々に広まってきているとは思いう。医療者側としても、お薬手帳にシールが貼っていると認識して頂ければもっと普及すると思う。

③ 臼杵市役所 保健師さん

- ・ 肝炎検査を受けた事を覚えていない方が多い。
- ・ 健診センターで受けた結果を保健師よりお薬手帳に貼付するのは難しい。
→検査結果と一緒に肝炎シール送付するのを検討中。

④ 三好循環器 清水さん

- ・ 院内で患者さんに肝炎シールを渡すタイミングが中々ない。
- ・ 高齢者以外はお薬手帳を持っていないケースも。
- ・ 保険証に貼るのも検討してもいいのでは。ただ、個人情報の問題もあるのでは。
- ・ 胃カメラをされる方などには貼付出来ているが、一般外来の方には出来ていない。

⑤ 宇佐市役所 健康課 アベさん

- ・ 病院では診察室などに肝炎シールを置いているがあまり使用されていない。
- ・ 病院内で誰が貼るのが定まっていない。
- ・ お薬手帳を持っていない方もいる。
- ・ 宇佐市では、検診を受けた方に肝炎シールを送付する事を検討している。

清家先生：お薬手帳が無ければ、糖尿病手帳でもなんでも良い。

⑥ 内科阿部医院 看護師さん

- ・ 先生より患者さんに説明して渡している。
- ・ 胃カメラの際に、先生より患者さんに説明して渡している。
- ・ 陽性患者さんに関しては、個人情報の観点から貼付するかは患者さんに委ねているケースも。

清家先生：クリニックでは1年ぐらい取組んで頂ければ、全ての患者さんに肝炎シールを届けられるのでは。県と相談して、肝炎撲滅クリニックの標記なども検討していく。

ロールプレイ実施

本田先生/荒川先生、織部先生/遠藤先生、香川先生/大河原先生、所先生/佐藤さん